

事業所名

児童発達支援事業所コンパス さがみ野教室

支援プログラム
作成日：2024年12月15日

| | | | |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| 法人（事業所）理念 | 本人とご家族に伴走する | | |
| 支援方針 | 集団・個別療育を通じて、ご家族と、1)お子様の発達の凸凹を共有する、2)～のような工夫をすることで～することができたなど支援の方略を共有する、3) お子様のちょっとした成長を一緒に喜び | | |
| 営業時間 | 9時30分12時30分まで 13時30分から17時00分 | 送迎実施の有無 | なし |
| 支 援 内 容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | トイレにおいては、衣服の着脱や使用後は手を洗うなど流れの習得を、お子様にあったプロンプト（手助け）をしながら、取り組んでいます。食事場面においては、姿勢、食具の持ち方・使い方、摂食指導、偏食への対応に取り組んでいます。また、睡眠や便秘など健康上の問題は、協力医のまなべ小児科クリニックと連携して対応しています。 | |
| | 運動・感覚 | 運動面では、粗大運動（例. 押す、ひく、投げる、ジャンプする）で思いきり体を動かし、土台を作り、バランス面、眼球運動・協調運動や筋力の向上につなげていきます。感覚面では、お子様の感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえながら、色々な感触をスモールステップで経験していきます。 | |
| | 認知・行動 | お子様の発達段階に応じて、物の機能や属性、形、色、音が変化の様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成をスモールステップで進めていきます。かんしゃくなど行動の問題に対しては、応用行動分析の手法を用いて分析し、不適切な行動によるメリットが得られないようにしつつ（誤学習をふせぐ）、適切な行動をプロンプトしながら形成し、ポジティブな注目により強化していきます。同時に、不適切な行動が起こりにくくなるよう環境調整をしていきます。 | |
| | 言語コミュニケーション | お子様の発達段階にあった方法（言語、ジェスチャー、絵カードなど）を用いて、人との双方向的なやり取りへの意欲を育てていきます。活動中の文脈にあった形やお子様の興味のある物事を通じて語彙を増やしていきます。就学前のお子様は、発達段階に応じて、小学校入学に向けて読み書きにも取り組んでいきます。 | |
| | 人間関係社会性 | 集団・個別療育で対応します。必要に応じて、見本をみせる、声かけなどの支援をしながら、ルールを守る、順番を守る、他児への声かけ、感情の調整を身につけていきます。 | |
| 家族支援 | ご家族の育児相談（例.かんしゃくへの対応）に対応しております | 移行支援 | 園や学校とお子様に発達の凸凹や有効な支援方法について情報共有をしていきます。 |
| 地域支援・地域連携 | 相談支援事業所や他の児童発達支援事業所とも必要に応じて情報を共有していきます | 職員の質の向上 | 職員からの要望に応じて、オンライン研修への参加、外部講師招聘を検討していきます。 |
| 主な行事等 | 防災訓練、かき氷、ハロウィン、クリスマス | | |